

おしぼなって何？

きれいな花を見た、めずらしい花を見た。これをとっておきたい、あとでしらべてみたい、みんなにみせたい。そんなときはどうしたらいいでしょう。

花のうつくしさに感動した人も、科学者も、これをなんとか残そうと工夫をします。それがおし花です。

花びんの花をほっておくと、やがて茶色く枯れてくさり、しわしわになってしまいます。これでは美しくもないし、あとで調べられません。そこでくさらず、しわしわにならないように工夫したものが押し花です。

生きている植物はたっぷりと水分を含んでいます。根からたくさんすいこみ、植物の身体の中をめぐり、余分な水分は葉からにはき出します。でも、枯れてしまうと、この水分を使ってカビや細菌が生え、植物をくさらせてしまいます。

これをふせぐためには水分をすばやくぬくことが大切です

しわしわにならないように水分をぬくために、すいとり紙と重しをつかい、ぺったんこにします。

お家でも新聞紙やマンガ雑誌をつかっておし花をつくることができますよ。思い出にするためにも、研究のためにも必要なのは、いつ、どこでとったのかを記録しとくこと。あとで誰かに名前を調べてもらうときにも、大事な手がかりになります。